

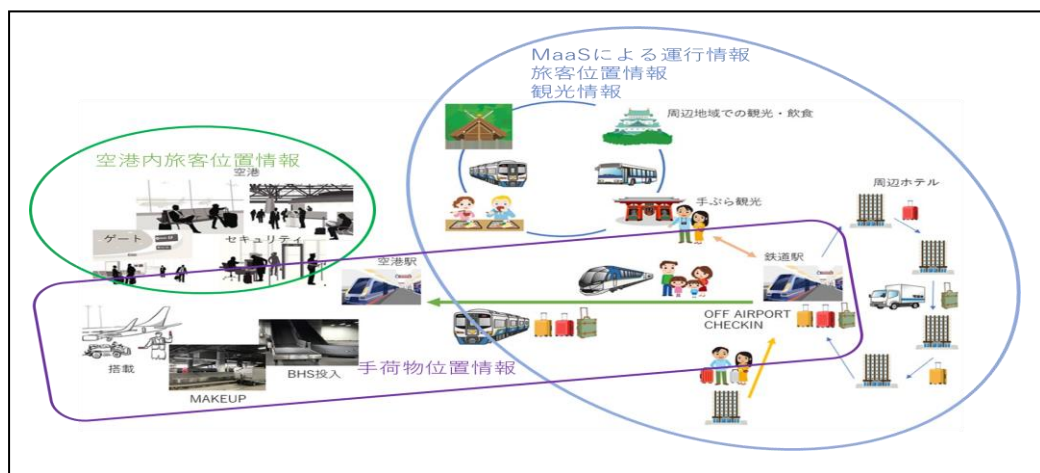
— 国土交通省 共創モデル実証プロジェクト 採択 —

## 中部国際空港⇔新千歳空港における 「オフエアポート・チェックイン」の実施について

全日本空輸株式会社（以下、ANA）、日本航空株式会社（以下、JAL）、中部国際空港株式会社、北海道エアポート株式会社、名古屋鉄道株式会社、株式会社 Airporter、株式会社エージェンシー、NPO 法人次世代空港技術研究会、その他協力先は、国土交通省の「共創モデル実証プロジェクト」を活用し、オーバーツーリズムによる地域交通の混雑解消と手ぶら観光の推進による地域経済への貢献を目的とした「オフエアポート・チェックイン推進プロジェクト」を実施します。

本プロジェクトは現在地域交通が抱えている、オーバーツーリズムによる観光客が持ち込む手荷物での混雑、手荷物保持による行動範囲の限定に起因する広域地域での観光消費の未拡大、地域での公共交通機関の利用者減少による路線維持・運賃抑制の難化という課題に対し、観光客（旅客）と手荷物の分離による空港までの地域公共交通機関の混雑緩和と、手ぶら観光の実現による広域観光周遊の利便性向上と観光消費の拡大を目的としています。

本プロジェクトでは、オフエアポート・チェックイン（OAC：OFF AIRPORT CHECK-IN）に関するPoC（Proof of Concept）実証実験として、ANA・JALの中部国際空港と新千歳空港間の航空便をご利用される搭乗旅客の手荷物を、都心部主要駅（名古屋鉄道・名鉄名古屋駅および JR 北海道・札幌駅）にてお預かりすることで、空港での手続きを簡略化します。また、搭乗旅客においては、手ぶら観光を実現して、名古屋地区および札幌地区から空港までの移動利便性を向上させます。さらに、航空会社のスマートフォン・アプリと連携した OAC アプリにより、手荷物と旅客の位置情報に基づき交通・観光案内および手荷物状況を OAC 利用者のスマートフォンへの情報配信を行い、安心・安全な観光旅行をサポートします。



オフエアポート・チェックイン概念図

実証実験の概要は別紙のとおりです。

## 別紙

### 【OAC 実証概要】

- ・内容：名古屋市内及び札幌市内主要駅にて航空手荷物の預託を可能とし、手ぶら観光の推進として近隣の観光施設案内と、空港までの交通情報案内、預託された手荷物の位置情報等を利用者のスマートフォンに随時配信する。  
空港での手荷物チェックインを不要にすることで、搭乗者の利便性の向上を図る。  
市内駅にて預託された手荷物は到着空港にて通常通り返却される。

・期間：令和6年2月4日（日）～令和6年2月11日（日）

・対象：対象便 以下の5便

#### 中部国際空港発

ANA NH715 便 16:55

JAL JL3117 便 16:55

#### 新千歳空港発

ANA NH712 便 17:00

ANA NH714 便 19:20

JAL JL3118 便 19:20

#### 対象旅客

- ・スマートフォンによる搭乗手続きが可能であり、預託する手荷物をお持ちの方で、実証実験に賛同・同意し、ご協力頂ける方。

#### 対象手荷物

- ・手荷物の3辺（縦・横・高さ）の合計が203cm以内であること。
- ・重量 普通席 20Kg/人まで プレミアムクラス 40Kg/人まで。
  - \* 取り扱い不可手荷物 貴重品・壊れやすいもの・楽器・自転車  
スポーツ用品・ベビーカー・車椅子等
- ・OAC 受付：名古屋鉄道・名鉄名古屋駅 名鉄商店店舗内（名鉄百貨店メンズ館1F）  
10:00～12:00  
JR 北海道・札幌駅 東コンコース北口 09:00～12:00
- ・手荷物配送料等：駅から空港までの配送は無料（実証実験）